

事業所名

りのきっず西葛西

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		『「子ども」も「家族」も笑顔になれる未来を』 ・子どもたち一人ひとりが安心して過ごし、自分らしく成長できるよう支援する。 ・子どもたちの「できた」を大切に。 ・親や保護者に対してもサポートし、負担を少しでも取り除く。 ・笑顔で子どもたちと接する『家族の時間』を増やす。						
支援方針		○個別・集団2軸によるハイブリッド療育 子供達それぞれの特性に合わせて課題を分析し、最適なプログラムを実施することでお子様の成長を徹底サポート。 また集団での療育によって、他人とのかかわり方を養う。 ○木育×はだして過ごす環境 天然木材を使った木育空間は、集中力増加や自律神経の安定など様々な効果が期待でき、子どもの情緒や五感を育む。 ○預かり型+送迎 長時間預かりのため、生活に則した流れでプログラムを組むことで食事・着替え・排泄等生活の基本を自分で行えるように子供の自立を促す。 また長時間預かりなため、保護者の方も仕事をしたり自分の時間を確保することが可能。 送迎対応によって保護者の送り迎えのご負担を軽減する。 ○屋外活動 施設のすぐ目の前が公園なのでいつでものびのびと粗大運動をして体幹を鍛えたり、近くには動物園が併設された「行船公園」、送迎車を使って少し足を延ばせば「開催臨海公園」があるため、様々な生き物や自然と触れ合うことで命の大切さや思いやり・好奇心を育む。						
営業時間		9時	30分	15時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・挨拶、食事、排泄、着替え、片付けなど基本的な生活スキルの習得を目指し、自立を促す。 ・お子さまの得意、苦手を把握し、スタッフと一緒に取り組んだり、自分でやってみる環境を提供する。						
	運動・感覚	・粗大運動・微細運動を通して身体の動かし方を楽しく学び、感覚統合や身体の発達を促す支援をする。 ・屋内外の活動により平衡感覚や基礎体力の向上を目指す。						
	認知・行動	・形、色、数、物の機能、空間、時間の概念の理解を図り、認知機能の発達や主体的に行動できるように支援する。 ・1日のスケジュールを示すことで生活の流れを把握したり、ルールを守ることを理解できるようにしていく。 また、他者とのコミュニケーションを適切にとれるように環境を整える。						
	言語コミュニケーション	・言葉の理解、気持ちを表現、他者に要求を伝えることができるようにお子さまごとの発達段階に合わせて支援する。 ・絵カード、模倣遊び、リズム遊びなどから発語、指差し、身振りなどの習得を目指す。						
	人間関係社会性	・スタッフやお友達との関係を築きながら気持ちのコントロールや集団生活のルールを理解できるように支援する。 ・自身の気持ちの表現と共に他者の気持ちも理解できるよう伝え方、思いやりを育てる。						
家族支援	ご家族様の困りごとや相談に関して、お子さまの情報を共有しながら対面、電話、運営支援ソフトなどで相談を受けることができるように体制を整備しておく。	移行支援	保護者様のご希望を伺いながら現在の課題、将来的（就学時等）に必要な支援を把握し、それに向けた生活スキルの習得を支援する。 必要に応じて通園・就学先等と情報共有・提供を行う。					
地域支援・地域連携	相談機関や保育園・幼稚園、子育て支援施設との情報共有を行い、療育・保育の足並みを揃えてお子さまに関わるよう支援体制を整える。 地域住民や保護者に対し、発達や障害に関する相談を受ける。	職員の質の向上	【社員向けマニュアル】 下記項目においてはマニュアルを作成。 ----- ◆虐待防止・身体拘束に関する研修◆事故防止に関する研修◆感染症に関する研修 ◆安全計画に関する研修◆災害・防災に関する研修 ----- また定期的にミーティングを行い、情報のアップデートと対策・対応の改善を行う。 【eラーニングの導入】 eラーニングを導入することで新人の基礎研修への活用や、社員が自主的に学ぶことができる環境を整備。					
主な行事等	春：お花見 夏：七夕、水遊び 秋：遠足、ハロウィン 冬：クリスマス会、お正月							